



## 硝子葺きの屋根

茅葺き屋根のある風景はどこか懐かしく、そしてなにより美しい。

しかし、囲炉裏が使われなくなると共にその実用性は低くなり、伝統技術も失われつつある。

この美しい景色をより多くの人に伝えるための方法はないだろうか。

茅と共にガラスの光ファイバーを葺いてみる。

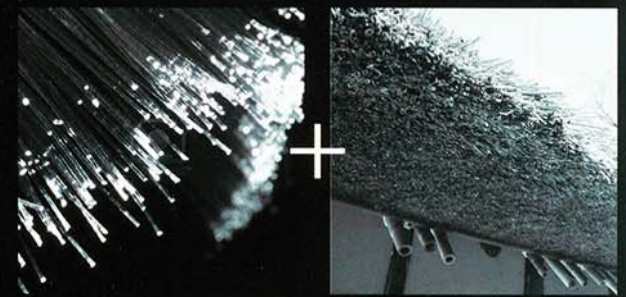
木造の茅葺き屋根に溶け込むガラス質は、茅の中にひっそりと佇み、

静かな夜にやさしい光を放つ。

集落全体が生活の灯りにつままれた、懐かしさ漂うあたらしい風景の提案。

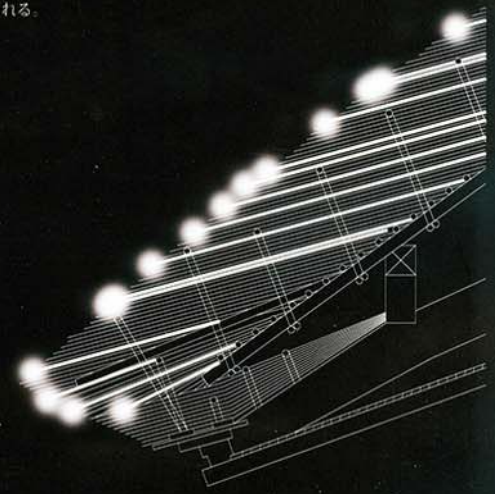
### ■ 光ファイバーと茅

全く異質の素材である光ファイバーと茅。しかし、よく見ると形状も大きさもそっくりであることに気づかされる。大きなものでは重さ約30トン、12000束にもおよぶ膨大な茅の中にガラス質の光ファイバーを同時に葺く。



### ■ ガラス葺きの屋根

光ファイバーを伝って生活の灯りは外へと溢れ出し、屋根全体がぼんやりとした光につつまれる。



### ■ 蓄光ガラスによる光ファイバー

さらに、光ファイバーの素材を蓄光ガラスにすることによって、茅葺きの家の特徴でもある大きな屋根裏が、星空のようなスクリーンへと変化する。

